

地

也<sup>1</sup>はひと筆で  
也<sup>2</sup> 軽快に書く

秋

秋の草書体

地

聞

少し仰揚をつける

聲

声

聲

「耳」は一行目の中心に書く

聞

→真横に

天

右上がり  
強く

半紙を六つに折って各行の中心に書く

王羲之(書聖と呼ばれている)

「蘭亭序」「集字聖教序」

「興福寺断碑」から字を集めて

倣書(背臨)で書いています。

しゅうせいてんち あいだ  
秋聲天地の間

秋の聲は天地間にみちみちて  
萬物にそのきざしがみられる

(陸游)